

様式 A-1

平成 25 年 2 月 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 茨城県立竹園高等学校 教諭 重永 由起子

2. 講師氏名: Dr. Felix Eberhard BUCHERT

3. 同行者氏名: 塚本 悠 先生

4. 実施日時: 平成 25 年 2 月 26 日 (火) 13:30~14:25

※その後化学の授業を55分参観されました

5. 参加生徒: 2年生 11人、(合計 11人)

備考:(例:理数科の生徒) 国際科理系生物選択者(13名中2名が当日欠席)

6. 講演題目: (英文) The air we breathe - Consequences of oxygenic photosynthesis

(和文) 私たちが吸っている空気 酸素を利用する光合成の結果

7. 講演概要:

- | | |
|---------------------------------------|-----|
| 1. 母国ドイツについて、講師の半生について(なぜ研究職になったのかなど) | 15分 |
| 本論および演示実験(生物発光の実験) | 30分 |
| 質疑応答 | 10分 |

8. 使用言語: 英語

9. 講演形式:

(1) 講演時間 45 分 質疑応答時間 10 分

(2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)

プロジェクター使用による講演、実験 有

(3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)

打ち合わせの時のみ

(4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)

講師作成の用語集プリント

10. 学校からの支給経費 ありません

11. その他特筆すべき事項: 講師の先生は大変熱心に講演してくださいました。感謝しています。

可能ならば、今後も、同様の内容で、講義と実験をお願いするかもしれませんが。(学年担当者により実施できるかどうか変わりますが・・・)